

2005-06 Governor's Information



▲客船「クリスタルセレニティー」

ガバナー月信 No.13 最終号

ロータリー親睦活動月間

- ・[ガバナーメッセージ](#)
- ・[地区幹事を終えて](#)
- ・[地区委員会 活動報告](#)
- ・[ガバナー補佐を終えて](#)
- ・[地区役員・会長幹事懇談会 次第](#)
- ・[2006～2007年度のための地区協議会 報告](#)
- ・[会員数及び出席報告\(2006年5月分\)](#)
- ・[会員数及び出席報告\(2006年6月分\)](#)
- ・[第6回地区諮問委員会](#)
- ・[月信編集後記\(御礼\)](#)

月信バックナンバー

[2005-2006年度バックナンバー](#)

[2004-2005年度バックナンバー](#)

国際ロータリー第2760地区
2005-2006年度ガバナー

高橋 治朗

■ガバナープロフィール

■地区方針

■RI会長ごあいさつ



超私の奉仕

ガバナー事務所ご案内▶

- 検索
- 公式訪問日程表
- 年間予定表
- 褒章について
- 役割分担表
- ガバナー補佐事務所
- 地区役員
- 地区委員会
- 地区内クラブ
- ロータリーソング
- リンク集

[ガバナーメッセージ]

Governor Message

第2760地区
2005～2006年度ガバナー

高橋 治朗



「笑顔で感謝」

最初に、パストガバナー、川島地区幹事、また、ガバナー補佐をお受けいただいた竹内、大森、岩井、成田、田嶋、松崎、小野、杉浦様。

西クラブの地区副幹事、会計長、監事、スタッフ、事務局、そして会員の皆様方から寄せられました温かいご指導とご支援に対しまして、深く感謝申し上げます。

この一年は私にとって、社会に出てから丁度50年目であり、同時に生涯で最も忙しく、また心に残る一年でもありました。昨年7月のガバナー就任時は、まさに愛・地球博が盛り上げて来た頃で（昨年の6月30日迄の入場者数は959万9千名で、6月30日・一日だけの入場者は89,871名でした）国の公式行事である昼夜を問わない万博の催しと、ガバナーとしての公式訪問が何とか予定通りに出来たのも、各地区ガバナー補佐の方々の適切なリポートと川島幹事のご努力、そして各クラブのご理解のお蔭でした。但し、周年行事や各委員会活動の全部に出席することはかなわず、準備いただいていたのに欠席となったことなど、関係の皆様方にお掛けしたご迷惑を、この場をお借りしてお詫び申し上げます。



ハイライトは何と言っても、ロータリー百周年を記念して万博会場内に建設したロータリー館です。大島ガバナーから引き継いだ事業でしたが、豊島、藤本の強力コンビと当地区会員の献身的な奉仕によって、2万名を超えるロータリアンとその家族の方々に利用していただきました。内藤P.G.が国際博の委員長をお務めになったことや、福田、盛田P.G.を始め多くの方々のサポートとご理解が得られて大成功を収めることが出来ました。これは2760地区だけでなく、日本のロータリークラブの歴史に残る素晴らしい快挙であったと確信しています。この事業にご協力いただいた方々は、まさに『超我の奉仕』を実践したものであり、ロータリーの精神を一般の方々にも見える形で発信できたものと思います。

また昨年10月の豊田スタジアムでの地区大会も記憶に残るパフォーマンスでした。豊田西ロータリークラブのホストにより、トヨタ自動車の渡辺社長様から自動車産業の現状と将来について、また会社の基本的な考え方が開陳され、我々も感銘を受けると同時に、同じ地域に働く者として強い自信を持つことが出来ました。



続いてのR.I.会長代理・小島様の「日常的なところで人を信頼し思いやる心があれば世の中は良くなって行く」というお話には、ロータリアンの原点を感じました。同期のガバナーも2750地区の市川夫妻、2580地区の古宮夫妻、2770地区の森田夫妻、2650地区の大久保様、2600地区の堀川夫人の皆様（2590地区の金杉様は急用でご欠席）がご出席下さって大会を盛り上げていただきましたのは大変有難いことでした。



6月のコペンハーゲン世界大会でも、ホテルや会場で多くの他地区ガバナーにお会いして友情を深めることができました。地区の内外を問わず、積極的に友好を深めれば教えられることも多く、楽しいことも多いものです。皆様も例会出席と他クラブのメーキャップの時には、なるべく多くの人と友達になるよう努力して下さい。また、信頼できる仲の良い友人に一人でも多く会員になってもらい、楽しい輪を広げましょう。

最後になりましたが、この一年間、本当に皆様にお世話になり有難うございました。今後とも、会員とご家族の皆様のご多幸をお祈り申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

地区幹事を終えて

2005～2006年度
地区幹事

川島 誠



高橋ガバナーノミニ一年度、エレクト年度、そしてガバナー年度に渡り、第2760地区の皆様には大変お世話になりました。81ロータリークラブ会長様はじめ会員様の温かいご支援、パストガバナー各位の心温まるご支援、ガバナー補佐をはじめとする地区役員、委員の皆様のご協力により、なんとか今日を迎えることができました。

今年度前半は万博の開催期間中であり各クラブへのガバナー公式訪問と重なり、昨年同様にほとんどのクラブで合同例会を開催いただきこの場をお借りして改めて御礼申し上げます。

万博ロータリー館は、内藤ロータリー館建設委員長、豊島ロータリー館館長、藤本ロータリー館副館長をはじめ関係者各位の御尽力そして各クラブ会員の皆様には資金援助等々による絶大なご支援を賜り無事成功裏に閉館できました。全国のロータリーの資金援助は一部ありましたが、大半の資金、管理・運営は全て当地区で行われ成功裏に終わりましたことは、日本の、世界のロータリーにおいても特筆し記録に残るものと存じます。今改めて感慨にふけりつつ会員の皆様に御礼申し上げるものです。

また地区ガバナー事務所分室の運営も瀧、安藤両元地区幹事のご指導により、地区として1つの方向性を何とか見出せたと思いつつ、今後さらに地区により良き運営を藤井地区幹事、河村次期地区幹事にお任せすることとなりました。

任期を通じて全てのロータリアンの本当に温かい友情・ご支援を頂き貴重な体験をさせていただいたことを心より感謝しつつ、御礼と「地区幹事を終えて」のご挨拶とさせていただきます。有難うございました。



● 地区委員会 活動報告



地区財務委員会
委員長

瀧 義孝

“超我の奉仕” RI の大きなテーマを旨とした、第2760地区高橋ガバナー年度も、数数の実績を成功裡に終えられました事を心よりお慶びいたします。

賦課金の削減の中での厳しい予算執行でありましたが、ガバナー事務局をはじめ、委員長さん各位の御協力により、無事この任を終える事ができました。厚く感謝申し上げます。

賦課金は会員お一人お一人の貴重な浄財である事を肝に銘じ、その運営にあたっては、川島幹事、服部会計長、天野監事さんの厳しいご配慮により、地区資金が正確に処理されました。改めて御礼申し上げます。

国際博基金運営費協力金については、会員の皆様より絶大なるご支援をいただきました。お陰を以って、本年度の7月、8月、9月の愛・地球博、ロータリー館の運営が大きな成果をあげる事ができました。この、国際博に関する会計については、ガバナー事務局より分離し、国際博委員会に全面委託し決算されている事をご報告いたします。



拡大委員会
委員長

杉浦 壽康

I. 委員会構成

カウンセラー：太田賢太郎 PG、岡部快圓 PG、豊島徳三 PG

委員：委員長 杉浦壽康(岡崎 RC)、副委員長 齋藤慎一郎(名古屋守山 RC)、

委員 松尾隆徳(春日井 RC)、伊藤明彦(常滑 RC) 途中交代→稲葉勝彦(常滑 RC)

II. 活動報告

1. 委員会開催(4回)

第1回 2005年7月6日(水) 第2回 2005年10月12日(水) 第3回 2006年2月8日(水)

※第1~3回はガバナー事務所分室で14:30~16:00に行う。

第4回 2006年5月17日(水) ※第4回は京懐石「貴船」に於いて17:00~19:30に懇談会形式で行う。

今年度はガバナーの「無理な拡大は好ましくない。自然発生的拡大が望ましい」という方針もあり、協議の中で可能性を探る議論はなされたが、各クラブが増強に精一杯である地区内の状況から、委員会として拡大に向けて取って代えて積極的に行動しなかった。

2. 拡大に関するアンケート調査を実施

地区内全クラブに拡大に関する各クラブの意識と各クラブ地域内の人口等の状況をアンケートの形で調査した。その結果は、地区内81クラブ中20クラブから「拡大は必要」という回答を得た。ただしスポンサークラブになって良いと回答されたのは5クラブであった。

3. 活動を示すパネルを作成

地区大会においてパネルを展示し活動状況報告



クラブ奉仕委員会
委員長

江崎 柳節

この2年間“クラブ奉仕がクラブを変える”というキャンペーンを張って参りました。クラブ奉仕委員長の職掌の再確認、クラブ奉仕委員会に属する多くのクラブ奉仕関連委員会の機能を掌握しそれを理事会に反映させるクラブ奉仕委員長の役割の重要性を訴えて参りました。

また地区内81クラブのご理解、ご協力を得て“いま問う。ロータリアンの矜持すべき事柄“のアンケートを施行し報告し、9月のクラブ奉仕委員長会議には田中毅2680地区 PDGにおいて頂き“2つの奉仕理念”という素晴らしいご講演をお聴きしました。同席上共催のインターネット委員会のご努力で希望者に講演内容をCDにして配布致しました。各クラブで喜んで頂きました。

俄にRIからだされた“クラブリーダーシッププラン(CLP)”についても注意深く検討して参りました。そして年度後半になり RI の方針により”新年度に入る前に各クラブで検討して頂くこと、採否はクラブの裁量権にあることを、先般の2006~2007年度のための地区協議会第1分科会の席上、次期クラブ会長、幹事に解説させて頂く機会を得ました。CLPの本来の趣旨は(1)機能を喪失しかかったクラブの起死回生の案(2)肥大した委員会構成のスリム化(3)多忙で単年度性のクラブ運営に継続性を担保(4)会員増強委員会、奉仕プロジェクト委員会、ロータリー財団委員会、クラブ広報委員会、クラブ管理運営委員会の5常任委員会を検討し理事会を構成する。これがCLPの概略であるが我が地区としてはクラブ管理運営委員会の機能をクラブ奉仕委員会がフルカバー出来れば従来の委員会構成で支障のないこと、既存の委員会と同名の委員会を常任委員会、理事会委員会とすることを検討できればCLPは従来構成と変わりなくクラブを運営できるものと考えられる。2007年の規定審議会の同行を見てからの対策で構わないと思われまます。

今年度の事業の概略は

- キャンペーン “クラブ奉仕がクラブを変える”。
- アンケート “ロータリアンの資質を考える” “ロータリアンの矜持すべき事項” 地区内各クラブ奉仕委員長様。
- 2005~2006地区内クラブ奉仕委員長会議 招請講演 講演 “二つの奉仕理念” RID2680 PDG田中毅先生。アンケートの開示解説。
- 各クラブでの “クラブ奉仕委員会活動” に関する卓話。
- 2006~2007年度のための地区協議会第1分科会におけるCLPの検討、解説。
- 同地区協議会の第2分科会、第3分科会におけるクラブ奉仕の活動方針等の解説、検討。今年度地区内各位の御指導ご協力誠に有り難うございました。



会員増強委員会
委員長

菊岡 深智子

目 標：「各クラブ純増一名！」

- (1) 第一回地区委員会：平成17年 6月17日(金) ガバナー事務所分室「会員増強についての情報交換」
 - (2) 第二回地区委員会：平成17年 7月12日(火) ガバナー事務所分室「会員増強委員長会議の運営について」
 - (3) 第三回地区委員会：平成17年 8月26日(金) ガバナー事務所分室「会員増強セミナーの役割分担・運営について」
 - (4) RI 2760地区会員増強委員長会議：平成17年 9月 6日(火) 名鉄ニューグランドホテル
 出席クラブ 76クラブ 出席者 93名
 基調講演：RI 会員組織地域コーディネーター 亀岡 弘氏(第2640地区PDG)『会員の維持と増強－今なぜ会員なのか』
 - (5) 第四回地区委員会：平成17年11月 8日(火) 名鉄グランドホテル「会員増強セミナーの報告会」
- 今回、地区会員増強委員長会議におけるグループ討論の結果を「会員増強に対する方策」「新会員へのオリエンテーション」「女性会員」「退会防止(会員の維持)」「地区委員会への要望」の5点についてまとめ、報告書を作成して各クラブ会員増強委員長へ送付致しました。尚、昨年7月1日会員数は5,202名、本年4月現在で5,294名です。純増会員数は92名となり、目標の純増一名は達成されました。



ロータリー家族委員会
委員長

大矢 裕 慈

- (1) 2005年 3月 5日 ナゴヤキャッスルHにて、地区指導者研修会でガバナーから R.I.会長の新年度テーマと地区活動方針を伺う。
 - (2) 3月18日 地区事務所会議室にて、地区クラブ奉仕委員会と合同で地区ロータリー家族委員会コンセンサス会議を実施、新年度活動方針を決議
 - (3) 4月10日 地区協議会の為の地区指導者会議
 - (4) 5月 8日 地区協議会、第二分科会に参加。
 右記新年度の活動方針を発表

(1) ロータリー家族のロータリー活動への理解と参加
(2) 愛・地球博(愛知万博)への参加 特にロータリー館には一度は訪問
(3) 12月の家族月間を支援するプログラム及び、1月物故会員の追悼例会
(4) ロータリー家族は、ロータリー活動の源泉
 - (5) 6月14日 ガバナー事務所分室にて
 第2回地区ロータリー家族委員会コンセンサス会議
 ガバナー名でロータリー家族委員会未設置クラブへの設置の要請書発信の件
 - (6) 7月15日 ガバナー事務所分室にて第1回地区ロータリー家族委員会を地区クラブ奉仕委員会と合同で実施。
 9月1日開催予定の地区内クラブ奉仕委員長会議のテーマ、運営方法等に関してガバナー、地区幹事、関連委員長に説明
- (7) 8月25日 名鉄ニューグランドHにて、9月1日地区内クラブ委員長会議の最終協議
 (8) 9月1日 名鉄ニューグランドHにて、地区内クラブ奉仕委員長会議開催時間の都合で、今年度活動方針の配布のみ。発表及び質疑応答もなし。
 (9) 10月 4日 マリオット・アソシアHにて臨時地区ロータリー家族委員会開催 9月1日の総括及び、地区大会にスローガンのパネル展示の件
 (10) 10月22日・23日 豊田スタジアム本年度活動方針をクラブ奉仕委員会と共同で展示した。
 (11) 12月 6日 マリオット・アソシアHにて、
 第3回地区ロータリー家族委員会を地区クラブ奉仕委員会と合同で開催地区大会での展示に関して次年度の展望
 (12) 2006年 1月19日 ガバナー事務所分室にて第2回地区ロータリー家族会議を地区クラブ奉仕委員会と合同で開催

以上、2005～2006年度の当委員会は、7回の委員会と5回の活動を行いました。愛知万博の成功によってロータリー家族委員会の存在も少しは認知されたかと思いますが、まだまだ認知度は、2割程度かと思われますので、委員会一同メンバーの変更があっても今後も努力精進致す所存です。



職業奉仕委員会
委員長

場々 大刀雄

- 4月13日(水) 14:00 第1回地区職業奉仕委員会 ガバナー事務所分室
 …5月8日の地区協議会の対応について、8月26日委員長会議の講師・関口さんをお願いしたこと、会場、名鉄ニューグランドホテル
- 5月 8日(日) 9:00 地区協議会 ウェスティンナゴヤキャッスルホテル
- 8月 5日(金) 16:00 第2回地区職業奉仕委員会 木曽路
 …委員長会議の全容の把握、資料作り、受付、会場内の要員、ディスカッションのリーダー決定
- 8月26日(金) 11:40 2760地区職業奉仕委員長会議 名鉄ニューグランドホテル
 …点鐘、開会宣言、ガバナー挨拶、講師紹介、フォーラム、質疑応答、公表、点鐘
- 10月 4日(火) 16:00 第3回地区職業奉仕委員会 木曽路 …委員長会議の報告書作成、土屋亮平さんの講評録作成について
- 11月18日(金) 16:00 第4回地区職業奉仕委員会 木曽路 …土屋亮平さん講評録 印刷できる、希望者に配布
 …委員長会議の報告書 印刷できる、ガバナー事務所へ送付、委員長へ送付
- 2月 1日(水)
- 2月16日(木) 16:00 第5回地区職業奉仕委員会 木曽路 …中間会計報告
- 5月20日(土) 「職業奉仕を理解するために」印刷、希望者に配布

以上 主な委員会活動を記しましたが、私は、職業奉仕委員会として、単位クラブの委員長及び委員に接するとき、又、卓話をお願いされたときの心がけとして、次のことを頭に入れておいて欲しいと、お願いしてきました。

1. わかり易い職業奉仕

これは、「職業奉仕を理解するために」を熟読することにより、理解できます。

2. 職業奉仕活動は倫理運動である。

このことについてかつてのRI会長ハーバード・テラー氏の言葉を記します。「ロータリーのしなければならない大きな仕事に、人格者を育てること、つまり人作りがあるのではないか。またそのことに関してロータリーには、大きな責任があるのではないか、と私は思っております。政界や実業界において、また地域社会や家庭において、つまり生活の様々な領域において有能な約に立つ人物を育成すること、そのことこそロータリークラブのなすべき仕事ではありますまいか。よい市民、よい指導者を育て上げることは、ぜひ必要なことであります。」とのべております。つまり、ロータリーは「ロータリアンの職業倫理を高め、ロータリアン一人一人の人間性を高めることを」目指しているのです。

3. 職業奉仕活動は目にみえない陰徳である。

● 地区委員会 活動報告



RCC委員会委員長
委員長

加藤 真治

1. 第1回RCC委員会【2005.07.08(金)】

名鉄グランドホテルにおきまして、川島誠地区幹事、和田政司地区副幹事をお迎えして、全委員出席のもと、第1回委員会を開催しました。

はじめに、川島地区幹事と和田地区副幹事から挨拶をいただいた後、議題の協議に入りました。今年度は、6回目のRCC交流会議を開催する年であるため、過去2回の交流会議のプログラムを参考にしながら、前回の交流会議に参加した委員が4名いるので、前回の反省も含めて、今回どのように運営したらいいか協議しました。

協議の結果、登録料の関係では、RCC隊員が参加しやすいようにRCC隊員からは登録料をいただかないようにすることと、各ロータリークラブの会員も参加しやすいように何名会議に参加しても1万円の登録料で開催出来るように考えることなどを決めました。

2. 第2回RCC委員会【2005.09.30(金)】

この会議では、第6回地区RCC交流会議の具体的なプログラムを検討、決定しました。また、来賓、登録料や当日の委員の担当を決めました。

3. 第3回RCC委員会【2006.02.07(火)】

この会議では、10日後に開催される第6回地区RCC交流会議での司会者などの台本検討すると共に、委員長報告のあらすじ報告しました。また、委員の役割などの再確認をしました。

4. 第6回RCC委員会【2006.02.17(金)】

名鉄グランドホテルにおきまして、川島誠地区幹事、伊藤秀雄地区社会奉仕委員長をお迎えして、第6回地区RCC交流会議を開催しました。参加者は、当地区の11RCC全てから隊長と隊員合わせて19名と当地区の71ロータリークラブから92名でした。詳細につきましては、第6回地区RCC交流会議の報告書(CD-ROM)をご参照下さい。



環境保全委員会
委員長

長瀬 諭

今年度の地区環境保全委員会では、地区内各RCの後方支援と情報提供が最大のつとめと考え、地区内RCとの意思の疎通を図りクラブを支援し、広報を強化することを本年度の重点指針として次の活動を行いました。

1. 地区環境保全委員長会議の開催。

(1) 第1回地区環境保全委員長会議(2005年9月28日)

デンソー高棚製作所見学

(2) 第2回地区環境保全委員長会議(2006年5月26日)

「ロハスとスローライフ」という演題で、
オークヴィレッジ代表・トヨタ白川郷自然学校校長 稲本正氏の基調講演

2. 地区内各RCの環境保全活動をアンケート調査し、各RCの活動状況を地区内RCに情報提供

3. 年6回の委員会開催。

4. 各RC間の情報の共有化支援だけでなく、国や県の環境活動の情報提供として、 環境省ブラックイルミネーションの紹介協力要請を行う。

特に、委員長会議時の見学会は、より環境問題を身近なものと感じていただけるよう初の試みとして開催し、いち早く、また熱心に環境問題に取り組まれているデンソーの施設、ビオトープを見学。後日、各RCに見学についてのアンケート調査を行ったところ、非常に好評で、また多数の方より環境問題に対しての意識の変化があったとのご意見を頂いたため、次年度も継続して行っていく予定です。

最後になりましたが、高橋ガバナーはじめ地区役員各位ならびに地区委員、クラブ環境保全委員長の皆様に心より御礼申し上げます。



国際奉仕委員会
委員長

安井 隆豊

1 地区国際奉仕委員長会議を年2回開催した。

9月14日には桜花学園 栄キャンパスにて今年度の各クラブの活動計画についての話し合いを行った。

4月19日にはホテルキャスルプラザにて今年度地区各クラブの国際友好と青少年交換、

そして世界社会奉仕活動の報告に続き、あまクラブの国際奉仕活動、東海クラブの世界社会奉仕活動、そして田原クラブの世界社会奉仕活動報告がされた。

その後ホストクラブの名古屋和合クラブによるハワイアンバンド・ザ・リメンバーズの演奏により和やかなうちにも、情報交換と親睦を深めた会となった。

2 地区国際奉仕委員会は年4回行った。

3 今年度初めての試みとして3委員会新旧の引継ぎと親睦の会を6月21日に舞鶴館で開催した。

4 世界理解月間の2月に各クラブからの世界理解の卓話要請への斡旋をした。

5 各クラブの国際委員会事業計画書をアンケート方式によって収集した。

6 各クラブのアンケートによる国際友好の実態調査をした。

7 地区青少年交換委員会と地区世界社会奉仕委員会への協力を行い 3委員長で2度ほどコミュニケーションの機会を持った。



青少年交換委員会
委員長

鈴木吉男

2005～2006年当初において、青少年交換を行っている全世界の地区に、RIよりロータリアン、その配偶者、その他のボランティアの人々が、子供達に肉体的、性的あるいは精神的な虐待を防止し、彼らの身の安全を守る為の環境を作り、維持することを目的とした「青少年交換の為のガイドライン」の作成を行い、2006年4月にRIに送付し承認を得るよう要請があり、もし出来なければ青少年交換プログラムを行ってはならない。という通達がありました。

日本中の地区青少年交換委員会、ガバナー会及びガバナー会青少年委員会がその対応に苦慮し、日本における独自のガイドライン作成に奔走する一年でした。

16名の特別チームが生まれ、私もその一員として名古屋、東京、大阪と泊りがけの作成を行いました。RIから提出期限が6月迄と延期されたこともあり、5月の長崎会議にて最終案を提示し、承認を得たのち、日本全国統一のガイドラインをRIに提出することが出来ました。

7月現在、RIより認証を得ることが出来ましたので、それにより2007年度から、「地区危機管理委員会」が新設されることになりました。

当初は、青少年交換だけの問題でしたが、現在では新世代にかかわるすべてのロータリープログラムから子供達を守るということになり、まだ一般のロータリアンの皆様にはアナウンスがされていませんが、今後ロータリアン全員に周知されることになると思います。

最後に2005～2006年度のプログラムで受入を依頼したロータリークラブの皆様には大変お世話になりました。青少年交換は3年ようやく一つのサイクルが終わるプログラムです。去年8月に試験を受け、合格した学生達は、今年の春にブラジル、オーストラリアに3名を送り出し、7月、8月には、アメリカ、カナダ、スイス、フィンランド、ドイツ、タイに出發します。来年の帰国まで一年間何のトラブルもなく帰国できることを、心から祈っています。

現在、青少年交換において学生のスポンサーロータリー探しが大変困難になり、新しいシステム構築が必要となっています。ロータリーの青少年交換の灯を消さぬよう、より一層のボランティアをロータリアンの皆様にお願ひ致します。



世界社会奉仕委員会
委員長

水谷金之

本年度のWCS活動に各クラブ大変なる御活躍、ご協力戴きまして誠に有難うございました。

独自で活動されたクラブが31そして地区に委託されましたのが38クラブ、金額にして3,215,000円ありました。皆様の貴重な資金を有効にと思ひ昨年度から検討しておりましたラオスに小学校建設を計画致し無事ハットファイ村小学校を建設させて頂くことが出来ました。

ラオスでは教育事情が大変悪く小学校で登校していない人、又教科書も3人に1人しか持っていない地区が沢山あり、識字率が大変悪く是非小学校の新設をと、僻地の人達から要望されました。

ハットファイ村はまだ電気が引かれておらず、住民は約450人程で小学生は155人です。先生も村人3人で現在受け持っているだけです。今回3教室1棟を寄贈する事とし2月にロータリアン17名で引渡式を行って来ました。

WCS活動はロータリーでは「静かなる革命」とも云われておられて皆様の世界社会奉仕が遠い国ラオスにて国の発展に少しでも寄与する事があれば幸いかと思います。又ラオスの隣りの国タイ3360地区(チェンマイ・チェンライ)のロータリアンと協力をしてラオスにロータリークラブを作ろうという事でこの程RI本部から3360地区の一クラブとして承認されたそうです。ロータリーの輪が一つでも増えます事はWCS活動をしておりまして最大の喜びであります。皆様のクラブでラオスにWCS活動を展開する際ロータリークラブが出来ましたので地区として御紹介する事ができることとなりました。

微力な私でしたが地区委員の皆様又各クラブの絶大なるご協力で無事一年間終えることが出来ました。

本当に有難うございました。



新世代委員会
委員長

藤井 忠

○ 職場体験事業所登録

2003年よりガバナー会青少年育成委員会が始まった職場体験事業所登録活動は、当地区に於いても、2004年登録者名簿の冊子を発行、その後登録者数はゆるやかに増加傾向にありましたが、本年度は冊子の費用と退会者、新規登録者の訂正、追加及び個人情報との関係で、保存、管理については各クラブにお願ひすることにしました。地区では内容の統一制度のため、様式1(ロータリアンが職場に関する記載事項記入)と様式2(氏名と職種のみ)をバインダーで各クラブが保存、管理し、毎年正しい資料を学校より要請があった時、直ちに対応出来るシステムと致しました。

○ 委員会

6回開催し、第1回は新世代、インターアクト、ローターアクト、ライラの年間活動方針、予算、事業の協力、各委員会の活動内容に関する理解、今後の活動の改革等を検討し、第2回はクラブ新世代委員会会議日に、新世代サミットを開催することに決定

第2回以降は活動の細部の検討、報告が行われた。

○ 第1回クラブ新世代委員長会議(名古屋マリオットアソシアホテル 15:30点鐘) 2005/9/6

挨拶(高橋ガバナー、藤井委員長)と次第に従って進行。 講演 古川勝三氏「指導者の資質」

- 1) 社員の健康と安心して働ける環境なくして大きな仕事は出来ない。
- 2) リストラは優秀な者は再就職が可能、そうでない者は生活に困る。
- 3) 遊びから新しい発想が生まれる。

新世代、インター、ローター、ライラ各委員会活動の報告

○ 第2回クラブ新世代委員長会議・新世代サミット(ライラセミナー第1日目 15:00) 2006/3/25

DVDにて、新世代(職場体験)インターアクト(海外研修)ローターアクト(アクトの活動)ライラ(セミナー)活動発表インターアクト、顧問、アクト代表により老人ホーム訪問、アクト内の活動、ローターアクト地区代表幹事により8大行事の活動が紹介され、ライラは現場の見学、

以上を通じて各委員会の活動状況を知り、横の連絡、理解が深められた。

● 地区委員会 活動報告



インターアクト委員会
委員長

秋田 敬治

今年度、地区インターアクト委員会の2大事業のうちの一つとして、7月18日海の日に、第16回インターアクトクラブ協議会が豊川高校インターアクトクラブ・豊川ロータリークラブのホストで「虹～心の架け橋～」をテーマに、豊川高校を会場にして地域を巻き込んだ新たな企画で、約500名の参加を得て盛大に行われました。加藤源重氏の基調講演「障害を乗り越え発明人生」は初めての試みですが、一般公開で開催されました。

又、もう1つのメイン事業である第18回海外派遣研修が、40名の派遣団員（研修生36名・引率者4名）で、オーストラリア・メルボルン・ジロングという新しい訪問地で7月22日から31日にかけて10日間に亘り実施されました。（前年までは5年連続でオーストラリア・ブリスベンで実施）更に、今回現地のロータリークラブの例会に参加し、自分たちのインターアクトクラブの活動を英語で発表するという新たな機会も与えられ、前年にも増して大きな国際交流の成果を携えて無事帰国致しました。

現在、当地区には高校を基盤とした14のインターアクトクラブと、地域を基盤とした1つのインターアクトクラブがあり、計15クラブ400名弱のインターアクターの活動を、22の提唱ロータリークラブがサポートしており、これらの支援を通じて次代を担う新世代の健全な育成に貢献できていると確信しております。更にこの活動を拡大するため、地区内のロータリアン並びにロータリークラブに於かれましては、是非とも地元の高校や地域でのインターアクトクラブの新設に、ご尽力賜りますようお願い申し上げます。

最後に、提唱ロータリークラブ会長・幹事・担当委員長各位並びに地区役員・委員各位の一年間のご協力に感謝し、衷心より御礼申し上げます。
以上



ロータリークラブ委員会
委員長

遠山 堯郎

- 3地区合同プロジェクト日時:2005年7月24日会場:日本国際博覧会(愛・地球博)

今期は初めて友好地区R.I.D. 2600RA, R.I.D. 2630RAとの合同活動を開催致しました。万博会場にて環境をテーマにフォトウォークを行い、環境について学習すると共に各地区のアクターと親睦を行いました。

- 国内研修日時:2005年10月8日～9日研修先: R.I.D. 2610(石川・富山)

研修テーマ:育む仲間、育てる伝統 研修先の2610地区アクターとの情報交換会を開催、充実したクラブ作りや例会作りについて意見交換を行いました。また、和菓子作り体験、市内観光を通じて2610地区アクターとの親睦を行いました。

- アクターズミーティング日時:2005年11月27日会場:田原市赤羽根文化会館 他

テーマ:BRING UP RAC 当地区の歴史、過去行ってきた地区事業、地区行事を学び、諸先輩方が作り上げてきたアクトを振り返ることで、今後のアクト活動に何が必要か議論しました。

- 地区親睦日時:2006年1月29日会場:岡崎市矢作体育館 他

テーマ:Actors LOVE Power 特別ルールドッジボールを通じて、交流と親睦を図りました。激しい試合となりましたがテーマの通り、「LOVE」をはぐくめたのではないかと思います。

- 海外研修日時:2006年3月18日～21日研修先: R.I.D. 3350(タイ・バンコク)

研修テーマ:見タイ 知りタイ 体験しタイ 3350地区アクターとの交流会を実施し親睦を深めた他、アユタヤ遺跡群をはじめ、王宮や寺院を見学し、タイの歴史や文化にふれました。また、カンチャナブリでは、第二次世界大戦の日本人戦没者慰霊碑や連合国軍共同墓地、JEATH戦争博物館等の見学し、戦争の悲惨さを学び、平和への思いを強くする機会となりました。

- 地区年次大会日時:2006年5月13日～14日会場:前夜祭 名鉄グランドホテル

本大会 ポートメッセなごや前夜祭ではマジダンスダンスレポリユーションのテーマの基、地区内外のアクターにダンスをしてもらい親睦を深めました。本大会では「はばたき」のテーマの基、年次大会の目的である各クラブの情報交換と、各クラブの活動報告、地区事業報告を実施しました。また、記念講演として「KEEP ON RACING」はばたき続けるとして太田哲也様から、私たち若者が大いに成長し、はばたき続けるために何かが必要か、体験談を中心に講演頂きました。

- 指導者研修会日時:2006年6月17日～18日会場:岡崎市民休養施設「桑谷山荘」

今年度と次年度のクラブ役員が集い、次年度の活動方針の表明や、クラブ運営の引き継ぎを実施しました。

- その他

各クラブにおいて、老人福祉施設や児童養護施設の訪問、障害者体験や地域の清掃活動を通じた社会奉仕活動。ユネスコ寺子屋運動の支援や留学生との交流を通じた国際奉仕活動、会員各位の仕事や趣味を通じた専門知識の開発等、それぞれのクラブにおいて特色ある例会を多数実施致しました。



ライラ委員会
委員長

早川 佳教

第14回ライラセミナーは3月25日・26日地区内より受講生126名・ロータリアン145名・新世代ライラ友の会・ローターアクト・インターアクト45名の参加の下、素晴らしい感動と思い出を共有することが出来ました。キラッと光る未来の何かを持った青少年諸君が、テーマである「夢」を熱く語り、共に参加したロータリアンから奉仕の精神・友情の大切さを学んだ2日間であり、将来に役立つものと確信した。

今、大人が次世代に「何かをしなければ」と考えたとき、ライラセミナーの是非は問うべきではないと思う。

一年間に亘り周到な準備・設営に全力で取り組んで戴いたホストクラブ・知多RCの皆様、ご指導ご協力を戴いた地区役員、各クラブロータリアンの皆様、新世代ライラ友の会の皆様に心より感謝いたします。

ありがとうございました。



ロータリー財団委員会
委員長

鈴木孝則

ロータリー財団委員会には、補助金委員会、年次寄付委員会、財団奨学委員会、財団学友委員会、恒久基金委員会、研究グループ交換委員会、ポリオプラス委員会、以上7小委員会があり、それぞれの任務を遂行しております。各委員会の活動報告は、それぞれの委員長さんが致しますので、ここでは、「当地区ロータリー財団委員会の基本方針」を報告させていただきます。

まず、「ロータリー活動の80%は、ロータリー財団委員会活動である」という認識を、全委員がもちました。「ロータリー活動の成否は、ロータリー財団委員会が握っていると言っても過言ではない」という意識から出発したわけです。しかし、この意識は、財団委員だけが持てば良いのではなく、ロータリアンの一人一人にどのように啓蒙していくのが次のテーマになりました。

ロータリアンが「意義あるロータリー活動をしたいが、どのようにして良いかわからない」ということを良く聞きます。答えは簡単です。「ロータリー財団に寄付をすれば良いのです。」ところが、わけも分からずに寄付ができるでしょうか。そこです。当地区ロータリー財団委員会は、基本方針として、一人一人のロータリアンに「ロータリー財団を正しく理解していただき、財団活動に積極的に参加をしていただくこと」を最重点項目に致しました。

具体的には、次の2項目の実施です。

1. 寄付金の使途を積極的に示し、いかに活用されているかをPRする。
2. 「毎年あなたも100ドルを『Every Rotarian, Every Year』(EREY)」を周知徹底する。

おかげ様で、情熱と行動力を備えた当地区ロータリー財団委員の方々のご努力と、ロータリアンの皆様のご理解で、この2項目を含め、立派なロータリー財団活動ができました。勿論、これで満足というのでは、発展向上がなくなってしまうので、100点満点とは申しませんが、間違いなくその道筋ができてくると確信しております。

次期ロータリー財団委員長は名古屋みなとクラブ・深谷友尋君です。委員長を中心に更なる飛躍を期待しております。

終わりになりましたが、この1年間も含め、在任3年間にわたるご指導とご協力をいただいた地区役員の皆様、委員の皆様、ロータリアンの皆様に心から感謝申し上げます。

ありがとうございました。

以上



補助金委員会
委員長

平岩慎次

① 地区補助金は、2003年～2004年度からロータリー財団にもうけられた制度で、「地域の振興」や「経済的に恵まれない人々の生活を向上させるため」に各地区が、人道的プロジェクトに、地区財団活動資金(DDF)を使うことを認めるものです。補助金審議会において、積極的に且つ主体的に関わる各クラブのプロジェクトを、慎重で且つ公平に審議したうえ、全員一致で承認を致します。鈴木孝則委員長、尾上昇副委員長、平岩慎次委員の3名でスタートして以来、高山光雄、貴田永克、杉本治彦委員の協力により、03～04年度61,212ドル(12クラブ)、04～05年度55,000ドル(13クラブ)、05～06年度51,000ドル(15クラブ)の計1672,12ドルの補助金を、40クラブがこの制度を活用しすばらしいプロジェクトを成功させました。

② 2005～06年度ロータリアンが積極的に且つ主体的参加の承認されたプロジェクト

- | | |
|------------------------------|--------------------------------|
| 1. 来て！見て！大須を知って！（名古屋大須） | 9. 日本伝統にふれあおう薪能（東知多） |
| 2. 花いっぱい運動(刈谷) | 10. ベトナムクアンナム省での |
| 3. ノーマライゼーション啓発イベント（愛知長久手） | 口唇口蓋裂患者の手術医療援助（田原） |
| 4. 入院患者の為の移動図書館（名古屋東南） | 11. 夜回り先生いいんだよ昨日までの事は（豊橋東） |
| 5. 身体障害者 愛知万博見学及び研修（尾張中央） | 12. 犯罪被害者支援活動啓蒙運動（三河安城） |
| 6. 地域の子供達と一緒に造る水と緑のピオトープ（西尾） | 13. 養護施設慈友学園生徒との交流会（名古屋北） |
| 7. 環境問題絵紙展（江南） | 14. 身障者美術展及び堂を守る会プレゼンテーション（稲沢） |
| 8. 児童擁護施設「遊具・茶道具」（名古屋名南） | 15. KRIBOFESTIVAL(犬山) |



年次寄付委員会
委員長

鈴木 哲

年次寄付委員会が2760地区に設立されて2年目の活動となりました。

委員長である鈴木哲と、副委員長の吉川正敏さん、委員の加藤俊二さんの三人で一年間の活動をしてまいりました。三人寄れば文殊の知恵ということで年度の前に少委員会を持ち、知恵を出し合って活動の方向を討議しました。

その中で当地区の財団の活動を通して【毎年あなたも100ドルを】というスローガンに対してビジュアルにした分かりやすいパンフレットを作ろうということで(株)ヨシノ印刷様で3回にわたり打合せ、写真の選定、校正を行い新しいパンフレットを6,000部10月の地区財団委員長会議に間に合うように作ることが出来ました。パンフレットは主に次の点を強調しビジュアルに表現しています。

- | | |
|----------------------------------|-------------------------------|
| 1. 年次寄付のお金の流れ | 4. 当地区から派遣された国際親善奨学生のような |
| 2. 当地区の年次寄付の実績 | 5. 当地区へ受け入れたGSE(研究グループ)の活動 |
| 3. 地区補助金を使って行われた
当地区内のクラブの活動例 | 6. 当地区から派遣されたGSEメンバーの現地での活動 |
| | 7. 100ドルの寄付で世界にどれほどの貢献が出来るかの例 |

このパンフレットを是非メンバー全員に見ていただこうと10月20日の地区財団委員長会議で説明をして各クラブに配布いたしました。このパンフレットを見ていただければ、身近に財団の事を感じとってもらえると思います。

11月の財団月間では各委員が手分けして、いくつかのクラブの卓話に行ってきました。ある時はGSEの派遣メンバーと共に訪問し、再度このパンフレットを活用しながら、また、国際ロータリー財団より取り寄せた最新のEvery Rotarian Every YearのDVDを放映してクラブのメンバーに年次寄付への理解をお願いいたしました。

3月と5月には各クラブへ財団寄付の実績の報告をお願いすると共に再度【毎年あなたも100ドルを】のお願いを鈴木孝則財団委員長名と年次寄付委員長名で文書にて配信いたしました。

実績としては2002～3年度は一人当たり76ドル、2003～4年度は90ドル、2004～5年度は96ドルで推移していますが2005～6年度は各クラブから上がりました実績を集計しますと対前年度比プラス5ドルの水準できています。これもひとえに委員会メンバーの協力と各クラブのロータリアンの年次寄付に対する意識の高まりの表れかと思えます。

この流れを2006～7年度も続けていただきたいと思います。

2005～6年度年次寄付委員会決算報告

2005.8.11	入金	130,000
2005.9.20	出金(パンフレット代)	-130,000
	残高	0

地区委員会 活動報告



財団奨学委員会
委員長

川辺 清次

今年度も平成18年5月21日に07～08年度財団奨学生選考面接試験を行いました。募集人数は最近の傾向で、1年間の留学希望よりマルチイヤー2年間の奨学生の枠を多くして頂き、1年間4名・2年間6名・3ヶ月の文化研修1名でした。

今年も例年通り優秀な若者が応募しており、中には東大で大学・大学院と成績がオール優である学生もいました。

面接は3グループに分れ1人30分間の中で5～6人の試験官が10点満点で採点し、トータルで上位より選考する方法です。私も財団奨学委員になって5年経ちますが、昨年は応募者が特にマルチの2年留学が4人のところになんと16名の応募があり枠を2名増員しましたが、選考するのに難儀しました。他の年は、枠に満たない年もあり比較的楽でした。応募条件である語学力等が一定のレベル以上であれば、30分間の面接で合否を決めるのはなかなか難しいです。

話を元に戻しますと、今年度は1年間・3ヶ月研修のところは定員の応募者があり、マルチの2年間のところに1名多い7名の応募がありました。実際に試験をしますと、6番目と7番目の点差が僅差で、特にお願いで7名合格させて頂きました。

昨年度は先に記した通り16名中6名選考しましたが、今年(18年)7月、8月に留学先に出発しますが、なんと実際に6名中3名が辞退しました。「希望大学に留学できなかったから」という理由が2名、「家庭の事情」が1名です。何とか1名は補欠の方で補充しましたが、実質2名の欠員が出ました。とても残念です。選考の時10名の不合格者の方の無念を思うととても複雑な気持ちです。各ロータリークラブで面接選考される時、くれぐれも辞退しない様伝えて頂きたいです。

又、最近の傾向は圧倒的に女子が多いという事。昨年度は13名中11名が女性でしたが、今年度は12名中6名が女子で丁度半々でした。とても珍しい事で、ここ数年は成績優秀な女生徒が多いせいか圧倒的に女性が多く、財団奨学生に限って女性上位です。

これからも財団奨学委員会に御理解頂き、各ロータリークラブよりご推薦頂き度くよろしくお願い致します。



財団学友委員会
委員長

藤田 守彦

二年目の委員長時代と同じ様に「始まる時はこれからと思いつつ、終って見れば、やはり早い1年」でした。7月31日の新奨学生への「ガイダンス」が今期活動の始まりとなりました。中間の2月26日には「オリエンテーション」を行い留学先の交渉等、奨学生からの報告と学友からのアドバイスを行いました。

年が変わり6月11日には学友会総会と2006～07年度派遣奨学生の壮行会を行いました。総会は浅香代表幹事の議長の下、今後の活動方針、決算、予算等が承認され、更に楽しくて明るい学友会作りをして行く事を確認しました。

壮行会は財団委員会、学友会、派遣奨学生、顧問ロータリアンと昼食を一緒に取りながら、学友からのアドバイス、奨学生からは抱負を各自述べて貰いました。

今回派遣される奨学生が無事帰国され、学友の一員としてロータリークラブに貢献される事を期待しております。

通年の活動は以上なのですが特に今期は特筆する事があります。それは財団学友会「音楽チーム」の11月に開催された地区大会への参加です。学友会には音楽関係で留学した方も大勢在籍しております。今回は地区大会のホストクラブをされました。豊田西クラブ、鈴木幸穂会長様はじめ地区大会実行委員皆様様の御支援により、財団学友会音楽チームが御手伝いをする事が出来ました。オープニングからはじまり、国歌君が代の独唱、昼食時の演奏等をロータリアンの皆さんに聞いて頂きました。

今回の事はロータリークラブへの1つの恩返しと音楽チームの皆さんも思っております。今後供この様な機会がまた巡ってきます事を期待しております。

私も今期で財団学友委員長を退く事になります。在任中には多くのロータリアンの皆さんに友情を頂戴致しました事を厚く御礼申し上げます。

今後は更なる「財団学友会」への御支援、御協力を御願ひ申し上げて御報告とさせていただきます。



恒久基金委員会
委員長

渡辺 均

恒久基金委員会は、ロータリー財団委員会の中でも比較的新しい小委員会で、当地区では2001年の秋に恒久基金準備委員会が設立され現在に至っております。

恒久基金への寄付を奨励する事が主な任務になっており、通常1,000ドルの寄付者はベネファクターと言ひ、又、寄付の種類を問わず年次寄付・使途指定寄付・恒久基金寄付の合計で10,000ドル以上寄付した方を大口寄付者と言ひます。

本年度はロータリー100周年の年度にて特に広報活動等にて何度も寄付のお願いをしました所、各クラブより温かいご理解とご支援を賜り、2006年4月末日時点でベネファクターは74名、そして大口寄付者は8名をお出し頂き、全て目標を大きく上回り目標達成できました。

又、ベネファクター<0>クラブも、広報活動を通じてご理解を賜り順次年毎に少なくなり、<0>クラブは、ほんの僅かとなりました。

ご支援の程心より厚く御礼申し上げます。有難うございました。

私は2001年の秋から本年の6月末日迄恒久基金委員会にお世話になっておりましたが、各クラブの諸先輩方に初めてお目に掛かり色々ご指導を賜り、又、地区内ロータリアンに温かい友情とご支援を賜りました事、重ねて厚く御礼申し上げます。

今後、朱宮委員長を中心として恒久基金委員会が益々活躍されます事を祈念申し上げまして、退任の挨拶とさせていただきます。有難うございました。



GSE委員会
委員長

矢形 修己

今年度の研究グループ交換委員会は、万博の関係上、実質の国際交流はなく 前年度の報告書の作成、次年度、次々年度の準備と今までの反省及び今年度の事業展開検討など大きくは3事業であったと思います。

最初に帰国報告書の作成ですが、大島ガバナー年度の派遣期間が2005年5月7日～6月7日、帰国報告会が6月29日 年度最終まで慌ただしく今年度、派遣・受入がなかったことは幸いであったと思います。

しかし報告書の作成は簡単なものではなく、派遣メンバーの現地での活動、報告、研修を写真、データを含め詳しく記載していきます。また、受入時、お世話になった各分区、各クラブ、ホームステイ先などの報告を記載、RID5370(カナダ・アルバータ州)からの報告書の掲載など3ヶ月間にわたる作成です。結果、毎回、感動と驚き、経験などが入ったすばらしい報告書になります。是非、各クラブ、関係各署に2部送付しております。今一度、ご一読いただけますと有難く存じます。

次に次年度の準備は、RIの規定により、エレクト年度9月末までに交渉成立しなくてはならず、もし決定しなければ、RIから2月 San Diegoのガバナーエレクト会議で強制的にベアリングされてしまい、ガバナーエレクト、ノミニーの要望に従って時間との戦いに明け暮れる何ヶ月であります。

当初、GSE発祥のニュージーランドの要望に交渉、しかし世界各国から万博、トヨタ自動車のお蔭元とありプログラム要望は後を絶ちませんでした。ガバナーエレクトの要望もあり、安全、研修成果の高い地域を待つこと・・・決定したのは、2006年1月GETSへ行く寸前までかかりました。アメリカ・アーカンソー州 RI 第6170地区でした。クリントン前大統領・マッカーサー元帥の出身地であり、ウォールマートの本社、ダイヤモンド鉱山、米の収穫高(全米1)などすばらしい場所とベアリングできました。

それもつかの間、今度は以前要望していた、ニュージーランドから了解の連絡・・・早速、江崎ガバナーノミニーに了解をいただき、'07～'08年度決定いたしました。

次は、11月に受入する1ヶ月のスケジュール調整、またRID6170へ派遣するメンバーの募集です。斎藤ガバナー年度のはじまるまでに、ほぼ調整、募集など終了してはならず(RI規定で申請締切りが40日前)、次年度の委員も含め地区協議会から本番に入ります。ガバナー補佐・各会長エレクトとの調整、まだ実感もなく、またプログラムは難攻・・・忙しく緊張の毎日を過ごしていきます。

こうして、このプログラムは組み立てられていくのです。3年越しに平行で動いていく委員会の委員はもちろん、ガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニーをはじめ各クラブ、ロータリアンの多くの皆様にご支援ご協力をいただき、本当に感謝しております。引き続き次年度、次々年度も皆様のご支援ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後に高橋ガバナー、川島地区幹事、鈴木財団委員長はじめ地区幹部、地区委員の皆様にご心から感謝申し上げ、挨拶とさせていただきます。



ポリオプラス委員会
委員長

山内 登

2005～2006年度も終わりを無事迎える事ができました。思い起こせば、私がポリオプラス委員会の委員に指名されたのは5年前にさかのぼります。そんな忙しい委員会ではないのでよろしくと言われ安心しておりましたら、次の年度からポリオ撲滅参加年キャンペーンが始まり、一人150ドルの寄付を集めなくてはならなくなりました。第2760地区のクラブの皆様のご協力により成果を上げる事ができ本当に有難う御座いました。

一時期、ポリオ発生国が増えたりしましたが、本年度に入り急速に減って参りました。斎藤2006年～2007年度ガバナーによれば、斎藤ガバナー年度にポリオの撲滅宣言ができるかも？と言う事です。この地球上からポリオがなくなると言う事は大変喜ばしい事です。私たちが小学生の頃は、たいてい一学年に一人や二人のポリオの子供がいたものです。私の同級生にも一人いました。そんな、地球平和のためにほんの小さな活動ではありましたが、一翼を担えた事によるごびを感じている昨今です。2006～2007年度もポリオプラス委員会は継続されます。完全な撲滅宣言が出るまで頑張ってくださいよう、また、ロータリー会員の皆様にもご協力賜りますようお願い申し上げます。

最後に、私事ですが、5年間にわたり各委員会の皆様、ご協力頂きましたロータリークラブメンバーの皆様にご心よりお礼申し上げます。本当に、ありがとうございます。



米山奨学委員会
委員長

小山 慎介

米山奨学事業は(1)奨学生の育成(2)奨学金寄付の増進(3)学友会の支援、と3つの仕事を行っておりますが、とりわけ奨学生の育成につきましては、各世話クラブ、カウンセラーと各大学指導教官とにわたり複合的支援をいただいております。年度末にあたり、改めまして関係各位の皆様にご心からの御礼を申し上げます。

奨学事業を通じ、国境を越えたロータリアンと奨学生との間の信頼を醸成し、ロータリーの国際奉仕活動の一環としてより一層の貢献ができればと願っています。

2006奨学年度は4月から始まり、本年度当地区は37名(新規27名、継続8名、CY2名)の奨学生をお世話することになりました。2005～06年度の主な活動をご報告申し上げます。

- | | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 7.16 米山奨学生学友会(愛知)総会・懇親会(参加者45名) | 12.25 米山奨学生・学友合同忘年会(参加者88名) |
| 8.28 愛知万博ロータリー館米山デー(参加者200余名) | 2.4 06年度米山奨学生第3次選考会(面接試験) |
| 9.22 クラブ米山奨学委員長セミナー | 3.4 米山奨学期間終了者歓送会 |
| 10.15 米山奨学生・学友秋季合同研修会(大須)(参加者32名) | 5.11 2006年度カウンセラー研修会・奨学生オリエンテーション |
| 11.17 カウンセラー研修会 | 6.5 米山奨学生・学友合同春季研修会(熱田神宮)(参加者62名) |

以上



インターネット委員会
委員長

坂本 晃

私たちインターネット委員会は第2760地区のIT化を進めるという役割があります。地区内各クラブが、安くて便利な情報技術であるITを実装して、ロータリー活動をよりレベルアップしていくお手伝いをするのです。2006年5月末日現在で、当地区のホームページ開設率が70%を超えています。数年前まではホームページを開設しているクラブは数パーセントだったことを考えると、地区のIT化は格段に進んでいるようです。

私たち委員会の一年間の具体的な活動としては、(1)CICO会議を分区ごとに開催する。(2)CICO全体会議を開催する(3)地区やクラブの行事に参加してIT化の広報活動をする(4)地区のホームページを運営するなどでした。

まず、(1)のCICO会議を分区単位で開催する件ですが、当委員会は分区ごとに委員が選出されています。各委員が自分の所属する分区の各クラブのIT担当者とのコミュニケーションをとる場としてCICO会議は機能します。また、CICO会議においてはCICO同士が情報交換する場でもあります。今年度は西尾張分区を除く全ての分区にてCICO会議を開催し、有意義な情報交換ができました。

また、(2)のCICO全体会議は、当地区に所属するCICOが一同に集まり、コミュニケーションを深めると言う趣旨で今年度初めて実施しました。この全体会議では、一部クラブからIT化の現状を発表していただき、クラブIT化の現状を把握して頂きました。また、RIクラブ管理ソフトのダウンロード方法などの説明やロータリー情報の収集方法をCICOに実地体験してもらいました。

(3)のIT化の広報活動では、地区協議会やクラブ奉仕委員長会議に参加してIT化の効用を宣伝しました。

(4)の地区ホームページでは、地区独自の地区大会や地区協議会の歴史等の紹介と、ガバナーホームページへのリンクの内容を分けて、地区の広報活動を行いました。一年間ありがとうございました。



東名古屋分区分区 ガバナー補佐
(名古屋北RC)

田嶋 好博

会員の皆様のご指導ご協力と近藤、伊藤両補佐幹事のお陰で、無事に務めをはたすことができましたことを、心から感謝申し上げます。1年間のまとめとして分区分の各クラブの素晴らしい活動の一端をご紹介します。

会員増強と退会防止、愛地球博及び財団、米山、RCSへの協力は、どのクラブも重点事業とされています。
「ロータリーは心のオアシス」をテーマに、オアシス例会や慈友学園の子供達とのテニール大会を開催した北RC、楽しい魅力あるクラブを目指し、クラブの活性化に同好会を活用したり、ホームページの開設を検討している東RC、「仲良く楽しく」をテーマに、NGO等を統括し、守山区子供会ソフトボール大会の助成やクラブ名称の変更を検討している守山RC、「奉仕の心で楽しいクラブライフ」をテーマに、充実し和気藹々な雰囲気のある例会を開催し、積極的に活力がある和合RC、「クラブライフから『奉仕の精神』を培おう」をテーマに名東区小中学校連合音楽会の協賛している名東RC、「言葉・感謝・愛行」をテーマに「こんにちは、ありがとう」などのかけ言葉運動を展開し、地区協議会のホストや創立第25周年記念式典を立派に挙行した名北RC、「誠心誠意」をテーマに、タイ東北部への奨学金支援や家族参加の例会を開催した千種RC、「奉仕と友愛」をテーマに、「家族ふれあいウォーキング昭和」を開催した昭和RC、「一隅を照らす」をテーマに、創立第10周年記念式典を立派に挙行し、ピオトープの提供や農業体験交流「田植え」を実行した錦RC、愛知池桜並木の保全と東郷町3中学校対抗レガッタを支援した東山RC、「新しい風を運ぼう」をテーマに、児童擁護やパブリシティに努めている葵RCなど、各クラブが素晴らしい奉仕活動を継続的に実行されていることを誇りに思いました。各クラブの益々のご発展をお祈りします。



東三河分区分区 ガバナー補佐
(豊橋ゴールデンRC)

松崎 進

東三河分区分の2005～2006年度のガバナー補佐報告をさせていただきます。
今年一年間、東三河分区分の13クラブの皆様方には大変ご協力をいただきました。おかげをもちましてなんとか一年間ガバナー補佐としての任務を曲がりなりにも務める事が出来ました。まづもって感謝を申し上げたいと存じます。高橋ガバナーをはじめとする地区委員の皆様のご指導をいただきました事にも感謝申し上げます。

今期の東三河分区分の13クラブは、カール・ウィルヘルム・ステンハマー RI 会長の RI テーマ「超我的奉仕」と高橋ガバナーのかかげられた2760地区の4つの方針、「超我的奉仕」の具体化、会員増強と退会防止、愛・地球博の成功、公共的イメージの向上にそって忠実に奉仕活動に取り組まれました。各クラブがそれぞれ方法は異なりますが、立派な成果を上げられました。

又、各クラブがクラブ運営に関しても、それぞれ工夫をされて、より楽しく充実した例会を開催される工夫をされておられるのを拝見させていただき、私の方が大変良い経験と勉強をさせていただきました。

会員増強・退会防止につきましては、大変きびしい状況の中ではありますが、各クラブが努力され多くのクラブが目標を達成されておられました。

愛・地球博の成功に関しましても、全てのクラブが複数回の例会をロータリー館で開催され協力していただきました。各クラブが展開されました奉仕活動がマスコミにも取り上げられ報道されて公共的なイメージアップにつながったと思います。

全体として、「超我的奉仕」の大きなテーマのもとで非常に有意義な奉仕活動が出来たと考えております。ご協力に感謝し、さらに今後のご活躍をご期待申し上げて報告とさせていただきます。



西三河分区分区 ガバナー補佐
(岡崎城南RC)

小野 智範

05～06年度高橋年度西三河中分区分ガバナー補佐として、一年間、無慮成満出来ましたことは、高橋ガバナー、川島幹事、担当副幹事、分区内九クラブの会長幹事会員諸氏のご協力の賜物でありました。

そして、浅学非才の私を補佐し、お世話いただきました中根補佐幹事、近藤井上両副幹事のおかげであると、痛感しています。分区分補佐として、多くのロータリアンに「出会う」機会に恵まれ、人格識見の一端に触れ、多くのものを、ご教授いただきました。今後はこの経験を生かして、これからは一人のロータリアンとして、クラブ活動に邁進して行きたいと思っております。

最後になりましたが、皆様に感謝申し上げます、いずれの日にかまた「出会う」時がありましたら、重ねてロータリーの友情に花を咲かせてみたいと思います。



西三河分区分区 ガバナー補佐
(高浜RC)

杉浦 義尚

昨年7月より、西三河分区分(9クラブ)のガバナー補佐役を引き受けスタートしました。
最初はどうなることやらと不安と心配で落ち着かない日々でしたが、高橋治朗ガバナーはじめ地区の関係の皆様のご支援をいただきながら何とか責を果たすことが出来ました。皆様方のご支援、ご指導の賜物と先ずお礼を申し上げます。

スタート時には愛知万博の開催中であり、ロータリークラブも万博会場にロータリー館を建設されロータリー館での例会などいろいろ多忙な日々が続きました。愛知万博も好評のうちに終わりロータリー館も十分活用され終えることができたそうです。

ロータリー活動は、各クラブのガバナー補佐訪問が8月3日三河安城クラブを最初に9月13日高浜クラブで終わりました。
ガバナー公式訪問は西三河分区分は、9月2日安城RC、三河安城RC、9月16日西尾RC、一色RC、西尾KIRARARC、9月27日刈谷RC、碧南RC、高浜RC、知立RCの3グループに分けられ開催されました。

11月23日 毎年恒例になっています「西三河分区分ガバナー補佐杯親睦ゴルフ大会」を開催し、一日楽しいゴルフ大会となり各クラブの皆様方と親睦と交流が出来ました。

知立RC15周年、西尾KIRARARC15周年の記念例会が行われ出席させていただきました。ガバナー補佐幹事鈴木政幸さんに支えられ一年間無事に終えることが出来ましたことを心より感謝申し上げます、分区内の会長、幹事そして会員各位のご協力ありがとうございました。

2006～2007年度

地区役員・会長幹事懇談会 次第

◆日時：2006年6月3日(土) 18:00～20:30

◆場所：名鉄グランドホテル

17:30 受付開始

式典の部

司会：地区副幹事 一柳 伸

18:00 点鐘

ガバナー 高橋 治朗

開会の辞

地区会計長 服部 龍夫

君が代、ロータリーソング「奉仕の理想」

ソングリーダー 地区スタッフ 大杉 誠

特別出席者紹介

川島 誠

ガバナー挨拶

ガバナー 高橋 治朗

表彰及び感謝状贈呈

ガバナー 高橋 治朗

地区幹事 川島 誠

RI 会長賞

代表クラブ 西尾RC会長 三浦 康彦

RI 会員増強・拡大賞

(退会防止)

名古屋名東RC会長 儀賀良 公秀

(有資格者の新会員勧誘)

名古屋RC会長 安井 義博

地区特別功労賞

名古屋大須RC会長 草野 勝彦

ガバナー賞

代表クラブ 豊田RC幹事 岡田 勝美

R財団功労表彰

名古屋大須RC 尾上 昇

R財団大口寄付表彰

ロータリーセンター平和推進地区 受賞 ガバナー 高橋 治朗

ロータリー館 副館長・館長補佐 感謝状

中部経済新聞社への感謝状

受賞クラブ代表挨拶

代表 名古屋西RC 藤本 博之

中部経済新聞 伊藤 博

名古屋大須RC会長 草野 勝彦

閉会の辞

地区監事 天野 源治

18:30 点鐘

ガバナー 高橋 治朗



18:40 <<10分間休憩>>

懇談会の部

司会：地区副幹事 一柳 伸

18:50 懇談会開宴

バストガバナー 盛田 和昭

パストガバナー挨拶・乾杯

懇談

ロータリーソング「手に手つないで」 ソングリーダー 地区スタッフ 大杉 誠

20:10 御礼の言葉

地区幹事 川島 誠

お開き



2006～2007年度のための 地区協議会 報告

次期地区副幹事 梅村 正明

2005年～2006年RI第2760地区地区協議会は、2006年4月16日ウェスティンナゴヤキャッスルホテルにおいて名古屋名北RCのホストにより約2,000名の出席者を迎えて盛大に開催されました。本協議会は次年度各クラブが事業計画を立てられるに当たり、RI及び地区がどのような考え方をしているか、またどのような要請を各クラブに対し行っているか、また地区として各クラブに対しどのような援助を行うことができるかをお知らせする重要な会議であります。



会議は午前10時、齊藤ガバナーエレクトの点鐘により開始され、高橋ガバナーの御挨拶に続き齊藤ガバナーエレクトから午前中の主要議題である次年度RIテーマ及び地区方針についての熱い思いが語られました。2006年～07年度RIテーマは「Lead the way」地区方針は「原点回帰」であり、「愛地球博」終了という大きな節目を迎えた以後のロータリー活動についてクラブ奉仕の徹底等地区として目指している方向性、及びその具体的な方法としてのI・Mの再開、地区研修委員会、地区ロータリー情報委員会の新設について説明されました。

午後は分科会に分かれて各委員会別に会議が開催されました。本年は地区として2委員会が新設されたこともあり、10分科会が開催され、例年と同様真剣な討議がなされました。ただ会場の都合上、各分科会におきましては十分なスペースを確保することができず、出席いただいたロータリアンには窮屈な思いをされ申し訳ないこととお詫び申し上げますが、会議は活発な意見交換がなされ、次年度に向けての熱意が感じられました。

最後に高橋ガバナーによる講評が行われ、長い1日が終了しました。長時間にわたる会議にもかかわらず熱心に討議いただいたロータリアン各位の熱意と、ホストクラブである名古屋名北RCの奉仕に感謝し、地区協議会の報告とさせていただきます。



会員数及び出席報告

2006年5月分

分区	クラブ名	会員数			当 月 女 性	入会		退会		例 会 数	5月 出席率	
		2005年 7月1日	2005年 7月1日女性	2006年 5月末日		5月	累計	5月	累計			
南 尾 張 分 区	半田	62	3	62	3	0	4	0	4	3	99.37%	
	常滑	53	0	55	0	0	2	0	0	3	96.30%	
	東海	53	2	58	2	0	6	0	1	4	95.26%	
	東知多	20	1	25	1	0	5	0	0	3	83.33%	
	半田南	51	1	51	1	0	2	0	2	4	99.46%	
	知多	25	0	23	0	0	0	1	2	4	93.75%	
	大府	26	1	27	1	0	1	0	0	3	87.66%	
	7RC	290	8	301	8	0	20	1	9		93.59%	
西 尾 張 分 区	一宮	79	0	81	0	0	7	0	5	4	98.64%	
	津島	75	2	76	2	0	3	0	2	4	89.92%	
	尾西	37	0	33	0	0	0	0	4	4	90.91%	
	一宮北	57	0	56	0	0	1	0	2	3	98.11%	
	稲沢	59	0	62	0	1	3	0	0	4	92.16%	
	あま	90	0	90	0	1	3	2	3	4	97.93%	
	西春日井	39	1	39	1	0	1	0	1	4	90.83%	
	尾張中央	52	0	50	0	0	2	0	4	3	86.30%	
	一宮中央	55	6	56	6	0	2	0	1	4	95.42%	
	9RC	543	9	543	9	2	22	2	22		93.36%	
東 尾 張 分 区	瀬戸	78	2	76	2	0	2	1	4	4	100%	
	犬山	81	0	82	0	0	3	0	2	4	100%	
	江南	57	1	56	1	0	1	1	2	3	90.73%	
	小牧	57	2	54	3	0	4	0	7	3	89.36%	
	春日井	64	3	65	3	0	3	0	2	3	96.12%	
	尾張旭	27	0	30	0	0	5	0	2	3	100%	
	名古屋空港	55	0	57	1	0	4	0	2	4	97.18%	
	瀬戸北	71	4	71	4	0	2	0	2	4	100%	
	岩倉	20	0	19	0	0	1	0	2	4	96.05%	
	豊山・城北	27	1	22	1	0	1	0	6	3	94.23%	
	愛知長久手	22	2	25	2	1	3	0	0	4	70.79%	
	11RC	559	15	557	17	1	29	2	31		94.04%	
	西 名 古 屋 分 区	名古屋	183	0	185	0	1	15	0	13	4	92.89%
名古屋西		99	0	106	0	3	13	0	6	3	89.40%	
名古屋南		111	0	118	0	3	12	1	5	4	92.99%	
名古屋みなと		84	0	78	0	0	0	0	6	3	93.87%	
名古屋東南		72	5	75	5	0	5	0	2	4	94.66%	
名古屋中		133	0	143	0	0	12	0	2	4	99.54%	
名古屋瑞穂		75	0	75	0	1	2	0	2	4	97.27%	
名古屋大須		67	2	71	3	0	6	0	2	4	95.52%	
名古屋栄		74	0	77	0	0	4	0	1	4	91.00%	
名古屋名南		80	12	82	13	1	4	0	2	4	94.86%	
名古屋名駅		98	3	101	3	1	7	0	4	4	94.01%	
名古屋西南		48	7	49	7	0	3	0	2	3	95.65%	
12RC		1,124	29	1,160	31	10	83	1	47		94.31%	
東 名 古 屋 分 区		名古屋北	92	0	96	0	0	9	0	5	3	98.70%
	名古屋東	89	0	91	0	0	6	0	4	4	91.42%	
	名古屋守山	61	4	66	4	1	7	0	2	4	89.13%	
	名古屋和合	97	0	101	0	0	8	0	4	4	88.46%	
	名古屋名東	57	6	61	6	3	4	0	0	4	100%	
	名古屋名北	48	7	48	7	0	0	0	0	3	99.02%	
	名古屋千種	61	5	59	6	1	7	0	9	4	91.13%	
	名古屋昭和	61	0	60	0	0	3	0	4	3	99.36%	
	名古屋錦	34	6	34	6	1	1	0	1	4	86.72%	
	名古屋東山	59	2	59	2	0	1	0	1	3	90.40%	
	名古屋葵	22	0	22	0	0	1	0	2	4	64.70%	
	11RC	681	30	697	31	6	46	0	30		90.82%	
	東 三 河 分 区	豊橋	114	4	120	4	3	9	0	2	3	96.36%
		蒲郡	53	0	58	0	0	7	0	2	3	89.43%
		豊橋北	93	2	94	2	0	6	2	5	5	99.20%
		豊川	66	0	67	0	0	2	0	1	5	92.31%
		田原	59	1	58	0	0	4	0	5	3	91.16%
		豊橋南	60	0	64	0	2	7	0	3	4	91.83%
		新城	55	0	54	0	0	1	0	2	3	93.83%
		渥美	40	0	39	0	0	2	0	3	5	83.33%
奥三河		21	3	21	3	0	0	0	0	4	91.30%	
豊川宝飯		56	0	55	0	0	1	0	2	3	97.30%	
豊橋ゴールド		66	0	64	0	0	0	0	2	3	94.74%	
田原パンフィック		68	0	69	0	0	2	0	2	4	92.59%	
豊橋東		47	0	50	0	1	3	0	0	4	100%	
13RC	798	10	813	9	6	44	2	29		93.34%		
西 三 河 中 分 区	岡崎	97	1	100	1	1	5	0	2	4	100%	
	豊田	74	0	82	0	0	12	0	4	3	99.02%	
	岡崎南	96	2	100	2	1	9	0	5	4	98.13%	
	豊田西	100	0	103	0	0	8	1	5	4	99.29%	
	岡崎東	64	0	65	0	0	4	0	3	3	90.38%	
	豊田東	80	0	83	0	0	5	0	2	4	99.64%	
	岡崎城南	73	0	75	0	2	5	0	3	4	99.64%	
	豊田三好	22	3	23	3	0	1	0	0	4	86.36%	
	豊田中	49	5	48	5	0	0	1	1	3	100%	
	9RC	655	11	679	11	4	49	1	25		96.94%	
西 三 河 分 区	刈谷	87	0	91	2	1	7	0	3	4	100%	
	安城	64	1	67	1	0	4	0	1	3	95.83%	
	西尾	74	1	75	1	0	2	0	1	4	98.64%	
	碧南	75	0	77	0	1	6	0	4	4	98.02%	
	一色	33	0	32	0	0	1	0	2	4	96.97%	
	高浜	43	3	44	3	0	2	0	1	4	100%	
	知立	63	0	66	0	1	3	0	0	3	100%	
	西尾KIRARA	58	0	61	0	1	5	0	2	3	99.43%	
	三河安城	55	5	55	5	0	2	1	2	4	95.93%	
	9RC	552	10	568	12	4	32	1	16		98.31%	

	クラブ	平均
平均出席率	81	94.34%

地区内クラブ数 81RC	2005年 7月1日会員数	5,202名 内女性 122	増加会員数(累計)	325名
	当月会員数	5,318名 内女性 128	減少会員数(累計)	209名
	当月平均出席率	94.34%	差引純増会員数(累計)	116名

会員数及び出席報告 2006年6月分

分区	クラブ名	会員数			当月女性	入会		退会		例会数	6月出席率	
		2005年7月1日	2005年7月1日女性	2006年6月末日		6月	累計	6月	累計			
南尾張分区	半田	62	3	60	3	1	5	3	7	4	98.14%	
	常滑	53	0	55	0	0	2	0	0	5	93.33%	
	東海	53	2	57	2	0	6	1	2	4	93.96%	
	東知多	20	1	24	1	0	5	1	1	5	87.27%	
	半田南	51	1	49	1	0	2	2	4	3	95.83%	
	知多	25	0	23	0	0	0	0	2	4	90.22%	
	大府	26	1	26	1	0	1	1	1	5	86.40%	
	7RC	290	8	294	8	1	21	8	17		92.16%	
西尾張分区	一宮	79	0	78	0	1	8	4	9	4	96.98%	
	津島	75	2	75	2	0	3	1	3	4	89.52%	
	尾西	37	0	31	0	0	0	2	6	4	90.15%	
	一宮北	57	0	55	0	0	1	1	3	4	95.70%	
	稲沢	59	0	60	0	0	3	2	2	3	86.67%	
	あま	90	0	88	0	0	3	2	5	3	98.40%	
	西春日井	39	1	39	1	0	1	0	1	4	82.50%	
	尾張中央	52	0	47	0	0	2	3	7	4	89.50%	
	一宮中央	55	6	53	6	0	2	3	4	4	94.96%	
		9RC	543	9	526	9	1	23	18	40		91.57%
東尾張分区	瀬戸	78	2	73	2	1	3	4	8	4	100%	
	犬山	81	0	82	0	0	3	0	2	4	100%	
	江南	57	1	52	1	0	1	4	6	5	92.24%	
	小牧	57	2	51	3	0	4	0	10	4	52.55%	
	春日井	64	3	62	3	0	3	3	5	4	95.78%	
	尾張旭	27	0	30	0	0	5	0	2	4	100%	
	名古屋空港	55	0	56	1	0	4	1	3	4	95.66%	
	瀬戸北	71	4	70	4	0	2	1	3	4	100%	
	岩倉	20	0	19	0	0	1	0	2	4	94.73%	
	豊山・城北	27	1	22	1	0	1	0	6	4	98.53%	
	愛知長久手	22	2	22	2	0	3	3	3	4	79.00%	
		11RC	559	15	539	17	1	30	19	50		95.32%
	西名古屋分区	名古屋	183	0	178	0	0	15	7	20	4	92.05%
名古屋西		99	0	102	0	0	13	4	10	4	86.53%	
名古屋南		111	0	114	0	0	12	4	9	4	94.29%	
名古屋みなと		84	0	72	0	0	0	6	12	4	93.64%	
名古屋東南		72	5	72	5	0	5	3	5	4	94.33%	
名古屋中		133	0	137	0	0	12	6	8	4	99.30%	
名古屋瑞穂		75	0	72	0	0	2	3	5	4	97.27%	
名古屋大須		67	2	68	3	0	6	3	5	4	93.18%	
名古屋栄		74	0	71	0	0	4	6	7	4	93.09%	
名古屋名南		80	12	78	13	0	4	4	6	4	94.72%	
名古屋名駅		98	3	93	3	1	8	9	13	4	94.35%	
名古屋西南		48	7	48	7	0	3	1	3	5	95.55%	
		12RC	1,124	29	1,105	31	1	84	56	103		94.03%
東名古屋分区		名古屋北	92	0	94	0	0	9	2	7	5	98.43%
		名古屋東	89	0	91	0	1	7	1	5	4	94.96%
		名古屋守山	61	4	65	4	0	7	1	3	4	89.67%
		名古屋和合	97	0	96	0	0	8	5	9	4	91.05%
	名古屋名東	57	6	57	6	0	4	4	4	3	100%	
	名古屋名北	48	7	46	7	1	1	3	3	4	96.53%	
	名古屋千種	61	5	58	6	0	7	1	10	3	87.72%	
	名古屋昭和	61	0	59	0	1	4	2	6	4	99.06%	
	名古屋錦	34	6	34	6	0	1	0	1	4	93.18%	
	名古屋東山	59	2	57	2	0	1	2	3	5	76.27%	
	名古屋葵	22	0	24	0	3	4	1	3	5	68.50%	
		11RC	681	30	681	31	6	53	22	54		90.49%
	東三河分区	豊橋	114	4	118	4	2	11	4	7	4	94.97%
		蒲郡	53	0	58	0	0	7	0	2	4	89.63%
		豊橋北	93	2	91	2	2	8	5	10	3	98.49%
		豊川	66	0	68	0	3	5	2	3	4	94.97%
		田原	59	1	58	0	0	4	0	5	3	87.76%
		豊橋南	60	0	64	0	1	8	1	4	4	97.97%
		新城	55	0	55	0	2	3	1	3	5	95.27%
		渥美	40	0	35	0	0	2	4	7	3	87.97%
奥三河		21	3	21	3	0	0	0	0	4	90.00%	
豊川宝飯		56	0	54	0	0	1	1	3	4	95.90%	
豊橋ゴールドン		66	0	64	0	0	0	0	2	5	92.28%	
田原パシフィック		68	0	68	0	0	2	1	3	3	92.04%	
豊橋東		47	0	48	0	0	3	2	2	3	100%	
	13RC	798	10	802	9	10	54	21	51		93.63%	
西三河分区	岡崎	97	1	95	1	0	5	5	7	4	99.38%	
	豊田	74	0	80	0	0	12	2	6	4	100%	
	岡崎南	96	2	95	2	0	9	5	10	4	96.03%	
	豊田西	100	0	101	0	4	12	6	11	4	99.00%	
	岡崎東	64	0	65	0	0	4	0	3	4	94.71%	
	豊田東	80	0	81	0	0	5	2	4	4	99.64%	
	岡崎城南	73	0	74	0	0	5	1	4	4	97.83%	
	豊田三好	22	3	21	3	0	1	2	2	4	85.72%	
	豊田中	49	5	47	5	0	0	1	2	4	100%	
		9RC	655	11	659	11	4	53	24	49		96.92%
西三河分区	刈谷	87	0	89	2	2	9	4	7	4	100%	
	安城	64	1	62	1	0	4	5	6	4	96.36%	
	西尾	74	1	74	1	0	2	1	2	3	100%	
	碧南	75	0	75	0	0	6	2	6	3	98.41%	
	一色	33	0	30	0	0	1	2	4	4	99.22%	
	高浜	43	3	41	3	0	2	3	4	3	97.85%	
	知立	63	0	66	0	0	3	0	0	5	100%	
	西尾KIRARA	58	0	62	0	1	6	0	2	4	100%	
	三河安城	55	5	53	5	0	2	2	3	3	94.56%	
		9RC	552	10	552	12	3	35	19	34		98.49%

	クラブ	平均
平均出席率	81	94.08%

地区内クラブ数 81RC	2005年 7月1日会員数	5,202名 内女性 122	増加会員数 (累計)	353名
	当月会員数	5,158名 内女性 128	減少会員数 (累計)	398名
	当月平均出席率	94.08%	差引純増会員数 (累計)	-45名

第6回 地区諮問委員会

日時 2006年4月1日(土) A.M. 11:00～

場所 ウェスティンナゴヤキャッスル

出席者 福田浩三 P.D.G. 盛田 P.D.G. 加納 P.D.G. 神戸 P.D.G. 石川 P.D.G. 松本 P.D.G.
野村 P.D.G. 太田P.D.G. 岡部 P.D.G. 豊島 P.D.G. 大島 P.D.G. 高橋 D.G. 斎藤 D.G.E.

オブザーバー 川島地区幹事 藤井次期地区幹事
大杉地区スタッフ

欠席者 森P.D.G. 奥谷P.D.G. 田中P.D.G. 宮地P.D.G. 蜂谷P.D.G. 内藤P.D.G. 福田清成P.D.G.

高橋ガバナー挨拶

- 協議事項
- ① 「青少年交換虐待とハラスメント予防に関する地区およびクラブの方針」について
 - ② その他

- 報告事項
- ① 2005～2006年度 各種表彰について
 - ② 2005～2006年度 会員状況について
 - ③ 西春日井RC クラブ名改称の件
 - ④ その他



月信編集後記(御礼)

2005～06年度のガバナー月信の発行にあたりましては、原稿依頼に対して快くお引受けいただき、又、様々な活動での情報提供をいただき有難うございました。

本年度はネット上での配信を月初めに、そして冊子としても初旬に発行をさせていただきました。

至らぬ点があったかと存じますが、この一年間大過なく「月信」を発行出来ましたのも、地区内ロータリアンの皆様のご協力、ご支援の賜物と心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

地区幹事 川島 誠
地区副幹事 田中 義一
事務局 星野 ひとみ